

## 65 ヒガシナメクジウオ

(ナメクジウオ科)

兵庫県ランク:B

*Branchiostoma japonicum*

環境省ランク:指定なし

### 種の概要

房総半島及び丹後半島以西、瀬戸内海を経て九州天草地方にかけて分布し、水深70m以浅の砂泥表層中に生息する。特に生息する砂の中央粒径が0.31~0.81mmの範囲に収まる底質を好む。全長は最大で7cm。筋節数は64前後。生殖腺は左右両側にある。吻口に近い腹側に40本の外鬚に囲まれた口があり、砂底直上のプランクトンなどを濾過摂食する。なお、2003年版に掲載されているナメクジウオ *Branchiostoma belcherii*は本種に該当する。

### 主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
△	△	△	○	○	○		△

### 県内分布

姫路市、洲本市

### 県内における生息状況及びその他特記事項

ランク変更なし。潮下帯では比較的広範囲に分布していると思われるが、潮間帯ではごくまれであり、姫路市と洲本市で確認されているのみ。干潟とアマモ帯が連なって存在しているような場所を好む。潮下帯においては淡路島北西部にまとまった個体群がある。

### 保護上の留意点

潮下帯の生息域においても、浚渫、埋め立て、海岸地形の変化に伴う海流変化による泥質の堆積などで、生息数は大きく変化していると思われる、生息状況は予断を許さない。特に干潟においては、開発が行われた場合、影響は著しく大きい。



【執筆者】 岩村文雄